

がいらい 外来カミキリムシから

はなさはるまも 花咲く春を護る



お花見は日本人にとって欠かせない春の風物詩です。でもそのお花見ができなくなるかもしれません。外来のカミキリムシ「クビアカツヤカミキリ」が日本で急速に増殖し、サクラの仲間をつぎつぎと枯らしているからです。

今回の「消費者の部屋」展示では、日本国内での被害発生状況、サクラの樹を護る方法など、研究成果の最前線をパネルとパンフレットで紹介し、今私たちにできることを皆様と考えたいと思います。



森林総合研究所関西支所
特設ホームページ

展示期間

令和5年6月8日(木)～7月25日(火) 8時30分～17時
(土・日、祝日を除く。初日は13時から、最終日は正午まで。)

展示場所

近畿農政局1階「消費者の部屋」展示コーナー
京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
地下鉄「丸太町」駅下車徒歩約15分(京都府庁西隣り)

◆お問合せ先◆

- ・近畿農政局 消費・安全部 消費生活課「消費者の部屋」
担当者：前田、高磯、田中 電話：075-414-9771
- ・国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所関西支所 地域連携推進室
担当者：大谷 電話：075-611-1201

樹皮下の幼虫が排出した
フラス(木屑+糞)

